

令和2年2月25日

保護者のみなさま

南知多町立豊浜中学校長
林 徳 孝

学校評価アンケート結果について（報告）

春寒の候、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、過日学校評価アンケートをお願いしましたところ、ご多用にもかかわらずご協力いただき、誠にありがとうございました。調査結果を下記のようにまとめましたのでお知らせします。学校評価アンケート回答結果につきましては、3月中に豊浜中学校ホームページにアップしますのでご覧ください。

昨年との比較や貴重なご意見を参考に、より一層信頼される学校づくりを進めてまいります。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

アンケートについての総括

- 4段階評価の「とても」を「4」、「まあまあ」を「3」、「あまり」を「2」、「まったく」を「1」とし、その平均値を昨年度と比較しました。
生徒は、7項目で上昇、2項目で下降、保護者は、8項目で上昇、教師は、4項目で上昇、3項目で下降となりました。
- 特に、生徒、保護者、教師の三者がともに上昇した項目は、「1 学校は、学校だよりやホームページを通して、教育活動の状況・成果・課題等の情報を発信し、説明責任を果たしている。」と「4 学校は、『特別の教科 道徳』を中心にして、福祉実践教室や福祉施設訪問、小学生とともに行う資源回収により豊かな心を育てている。」の2つです。行事後や活動後のホームページ更新、障がいをもった方や高齢者の方々との交流活動、学校・家庭・地域で推進される道徳教育の成果の現れと考えます。
- 生徒、保護者、教師の三者がともに下降した項目はありませんでした。生徒と教師は下降、保護者は昨年同様の評価が、「2 学校は、「学びの手応え」を実感する授業の実践や豊タイムの活用を通して、学力向上につなげている。」でした。今年度本校は、「学びの手応え」が実感できる授業づくりに取り組みました。授業開始時にねらいを提示、終了前には1時間の振り返りを行い、「何が分かったか。」「何ができるようになったか。」を確認することを試みましたが、成果につながりませんでした。来年度は、少人数であることを利点として、基礎基本の定着に重点を置きつつ、教師の授業力や指導技術の向上に努めます。
- 項目「9 学校は、問題に対して『早期発見』『早期対応』をし、いじめや体罰、児童虐待の防止に努めている。」では、生徒・保護者と教師の評価に差が見られました。実際に、生徒指導上の諸問題について、教師がまだまだ気づかずに見逃していることがあります。アンケートや日記、教育相談だけでなく、普段の会話からも実態把握に努めます。
- 全体的に見ますと、各項目の平均値はすべて3.0以上となっており、10項目で生徒・保護者・教師の3者ともに2.5以上の評価をいただきました。この結果は、今年度の豊浜中学校の教育活動に多くのご賛同をいただいたものと感謝し、今後も教職員一同、精進してまいります。
- 文章による貴重なご意見もいただきました。参考にさせていただきます。ありがとうございました。

裏面は、それぞれのアンケート結果の集約と今後に向けてのコメントです。ご覧ください。

令和元年度 学校評価アンケート結果

◆ () 内に4段階評価(4:とても 3:まあまあ 2:あまり 1:まったく)の平均値を記す。
また () の右の矢印は、昨年の平均値との比較を表す。

- 1 学校は、学校だよりやホームページを通して、教育活動の状況・成果・課題等の情報を発信し、説明責任を果たしている。

(1) 生徒	(3. 3)	↑	ホームページは、行事や活動後に随時更新できた。学校だよりを定期的に発刊できるようにしたい。
(2) 保護者	(3. 3)	↑	
(3) 学校	(3. 7)	↑	
- 2 学校は、学校は、「学びの手応え」を実感する授業の実践や豊タイムの活用を通して、学力向上につなげている。

(1) 生徒	(3. 0)	↓	「学びを手応え」を感じていない生徒もいる。授業の改善を図り、基礎基本の定着を図りたい。
(2) 保護者	(3. 0)	→	
(3) 学校	(2. 8)	↓	
- 3 数学と英語の授業における複数教員の配置は、質問をしやすくしたり、少人数の指導を受けやすくしたり、学習意欲の向上につながっている。

(1) 生徒	(3. 2)	↑	複数教員を配置するだけで終わるのではなく、指導内容や方法の工夫・改善に取り組んでいきたい。
(2) 保護者	(3. 1)	↑	
(3) 学校	(3. 2)	→	
- 4 学校は、「特別の教科 道徳」を中心にして、福祉実践教室や福祉施設訪問、小学生とともに資源回収により豊かな心を育てている。

(1) 生徒	(3. 3)	↑	体験活動とともに、道徳を工夫し、発問を吟味したり、考える場面を増やしたりしていきたい。
(2) 保護者	(3. 3)	↑	
(3) 学校	(3. 4)	↑	
- 5 学校は、保健体育の授業や部活動、持久走大会等の行事を通して、体力向上につなげている。

(1) 生徒	(3. 5)	↑	多くの生徒が充実感や達成感を味わいながら取り組んでいる。継続しよりよい活動にしていきたい。
(2) 保護者	(3. 2)	↑	
(3) 学校	(3. 5)	↓	
- 6 学校は、普通の保健指導や保健だより、学校保健委員会を通して、健康や基本的な生活習慣の確立につなげている。

(1) 生徒	(3. 1)	↓	生活リズムが心配な生徒もいる。家庭と協力しながら、睡眠時間の確保や情報機器に触れる時間の改善を図りたい。
(2) 保護者	(3. 2)	↑	
(3) 学校	(3. 4)	↓	
- 7 学校は、総合的な学習の時間を中心にして、職場体験やキャリア教育講演会等により「生き方」について考え、「生命」「防災」「人権」を大切にする心を育てている。

(1) 生徒	(3. 4)	↑	総合的な学習の時間や職場体験を充実させつつ、今後も生徒の心に響く教育講演会を開催したい。
(2) 保護者	(3. 2)	↑	
(3) 学校	(3. 3)	→	
- 8 学校は、生徒に地域への積極的な参加を促し、ボランティア活動を通して、生徒の成長につなげている。

(1) 生徒	(3. 3)	↑	多くの生徒がボランティア活動に積極的に参加できる。地域に貢献できる人づくりに努めたい。
(2) 保護者	(3. 3)	↑	
(3) 学校	(3. 5)	→	
- 9 学校は、問題に対して「早期発見」「早期対応」をし、いじめや体罰、児童虐待の防止に努めている。

(1) 生徒	(3. 0)	→	「いじめアンケート」や日記をだけでなく、生徒同士の生の声にも耳を傾け、早期発見・早期対応に努めたい。
(2) 保護者	(3. 1)	→	
(3) 学校	(3. 5)	↑	
- 10 学校は、地域と協働し、信頼される学校づくりに努めている。

(1) 生徒	(3. 2)	↑	保護者だけでなく、地域の各機関や団体とも連携しながら、期待に応える教育活動や学校運営に努めたい。
(2) 保護者	(3. 2)	↑	
(3) 学校	(3. 5)	→	
- 11 上記の1～10の取組によって、学校は教育目標にせまることができ、生徒の姿は育てたい生徒像に近づいている。(昨年度にはなかった項目)

(1) 生徒	(3. 0)		生徒たちが、さらに輝くことができるように、「豊かな学びの場を創造できる生徒」の育成に努めたい。
(2) 保護者	(3. 1)		
(3) 学校	(3. 4)		